

相崎ビジョン 2015

子育て・教育なら
伊丹がナンバー1

医療・福祉なら
伊丹がナンバー1



就学前施設の再整備

保育所は待機児童増加、公立幼稚園は園児数減少なるアンバランスを解消。公立幼稚園のサービス（預かり保育・3年保育など）を拡充し、ニーズに合った再整備に着手します。

病児保育の開始

病気の子どもを預かる病児保育。保護者ニーズが高いものの伊丹では未実施です。近年中の開設をめざし取り組みます。



●市内幼稚園

学力の向上

児童生徒に必要なことは様々にあれど学力向上は大きなポイント。授業改善・思考力の確立・読書推進教員の意識改革と指導力の向上など、様々な方法で学力向上を目指します。



●市内小学校

発達障がい児の支援

LD(学習障害)・ADHD(注意欠陥多動性障害)などの発達障がいは、適切な支援が重要です。支援事業所の充実・相談窓口の強化などを図ります。



●市立伊丹高等学校

児童くらぶの充実

保護者が放課後などに不在の小学生を預かる「児童くらぶ」。今年4月から4年生以上も受け入れていくことも鑑み、ハード・ソフト両面での改善をさらに進めます。

地域介護の充実

「地域包括ケア」の概念の元、高齢者が住みなれた地域で生き生きと過ごしていくよう、地域全体でのシステム構築に励みます。

高齢者施設の拡充

特別養護老人ホームの入所待機者の課題を鑑み、地域に密着した小規模な施設をきめ細かく整備していきます。



●養護老人ホーム松風園
特別養護老人ホーム桃寿園
(事業団HPより)

介護者の支援

介護する側の心身の負担軽減は今後の大きな課題。介護者の能力を考慮しての介護システムの検討はじめ、ハード・ソフト両面での介護者支援を推進します。

相崎ビジョン 2015

伊丹がナンバー1
医療・福祉なら

伊丹がナンバー1
安全・安心なら

市立伊丹病院の発展

地域拠点病院として軌道に乗る市立伊丹病院。看護師不足の対策・かかりつけ医との連携強化などをふくめ、さらなる発展を目指します。



●市立伊丹病院（市HPより）

障がい者の支援

障がい者の就労施設などに、市が優先的に物品購入や委託をすることを検討するなど、障がい者の支援を推進します。



●生活介護事業所（さつき）
就労継続支援B型（くすのき）
(社会福祉法人HPより)

地域防犯の向上

犯罪を抑止するため、市内各所に防犯カメラを設置することを検討します。



●地域の防災訓練

防犯灯の増加

街灯が少なく薄暗い場所は、犯罪発生の可能性が高まります。街灯が不足している場所を調べ、街灯設置を推進します。



●地域の自転車教室

地震対策の強化

南海トラフ大地震が予想される中、兵庫県や近隣自治体と連携・小学校区単位などの防災力強化の、広域・地域の両面で対策を強化します。

水害対策の強化

H26年9月の水害（集中豪雨により市内多数で浸水）を踏まえ、浸水箇所をシミュレーションして対策するとともに、地域で水害時の避難場所などについて協議を深めます。

自転車の対策

ボランティアによるマナー指導・自転車レーンの拡充などを通じての安全利用対策、路上駐輪ラックの設置などによる放置自転車対策を進めます。



●コイン式路上駐輪ラック

さらに 相崎ビジョン 2015を 進めるには



財政

徴収対策の徹底

税等の滞納対策を継続するとともに、全債権の管理を徹底的に強化し、入ってくるべきお金の確実な確保に取り組みます。

財政



●財政の冊子

PPPの推進

PPP(民間開放 パブリック・プライベート・パートナーシップ)を推進し、民間委託・民営化など民間活力の活用を検討することで行政のスリム化を図ります。



公共施設マネジメント

老朽化する公共施設が増加する今後、ソフトを重視する考えの元、施設の存続・改修・建て替えを総合的に検討するフェーズに入ります。

新公会計制度の検討

現金主義・単式簿記の現会計制度ではなく、資産状況や事業コストがわかりやすい発生主義・複式簿記の新公会計制度の導入について研究を進めます。

議会改革

政務活動費のネット公開

号泣議員で話題になった政務活動費。現在は希望すればペーパーでの書類が閲覧できるのみ。ネット公開してより広く公開できるよう検討します。

議会 改革



●伊丹市議会 (市HPより)

請願の本人訴え

請願者本人が公の場で趣旨を説明できる仕組み。他議会では増加中も伊丹市議会では未実施。導入に向けて取り組みます。

議会報告会の実施

議会で決定した事柄などを市民に報告する「議会報告会」。これも他議会では増加中も伊丹では未実施。開催にむけ検討を重ねます。



市議会議員としてこれまで、伊丹を「住みたい街 住み続けたい街」にすべく力を尽くしてきました。すいぶん改善され、市民の皆さんも約7割の方が“伊丹を気に入る、安心して住みたい”とお答えくださっています。（※H25年市民意識調査より）。ただ、都市間競争の時代といわれ、どの市町も住みやすさをアピールする中、伊丹が他より突出しているかというと今一歩だと感じています。伊丹は本当に住みやすい街なのに多くの魅力を発揮してくれているのか私は悔しいです。

今後これからは「住みたい街 住み続けたい街 ナンバー1」を目指したい。強く熱く思います。伊丹はナンバー1になれるし、その力を持っています。

伊丹を住みたい街 住み続けたい街 ナンバー1に!!

あいざき 佐和子

プロフィール



- 1973年 3月19日生まれ
○1991年 親和女子高等学校 卒業 ※コーラス部で指揮者
○1995年 奈良教育大学（小学校課程社会専攻）卒業 ※体育会水泳部
○1997年～ // 大学院（社会教育研究科・政治学専攻）修了
○1997年～ フリーANAウンサー
※ORIXブルーウエーブのマスコットガールも経験
○2000年～ 地元ケーブルテレビ（現ベイコム）・アナウンサー
※地域TV番組に多数出演
○2003年～ 第12代・兵庫県広報専門員
※兵庫県の広報番組（TV・ラジオ）に多数出演。式典の司会・広報の企画も。
県下のCATVでは「さわこのHyogo大好き！」が放送。
○2006年～ 伊丹市立中央公民館・事業推進委員会事務局長
※公民館の委員会事務局長として、ユニークな講座の企画など
○2007年～ 伊丹市議会議員（1期目）
○2011年～ 伊丹市議会議員（2期目）
※総務政策常任委員会 委員長、議会運営委員会 副委員長、会派幹事長
●家族：夫（同じ年）・長女（2005年生）・次女（2009年生）
●趣味：読書・水泳
●資格：小学校・中学校（社会）・高校（地理歴史）教員免許
●健康状態：極めて良好（中高時代は無遅刻無欠席）



知事・市長と

○井戸敏三 兵庫県知事
兵庫県広報専門員の時に
お世話になりました。
今も励ましてもらっています。



○藤原保幸 伊丹市長
連携を取りながら、
伊丹市の向上に力を合わせて
取り組んでいます。



○稻村和美 尼崎市長
もともと友人。
自身も子どもも同じ歳のママ友達。
連携しながらがんばっています。

情報は
ここから

★ホームページ <http://sawako-aizaki.com>
★ブログ <http://yaplog.jp/sawako-aizaki/> 毎日更新中!
★ホームページ(携帯版) 下記のQRコードから
★ツイッター <https://twitter.com/aizakisawako>
★活動ニュース バックナンバーは上記HPに。
郵送希望はご連絡を。
★フェイスブック ★ミクシィ

あいざき佐和子



連絡先

〒664-8503 伊丹市千僧1-1 伊丹市議会内
090-8528-3870 (携帯)
sawako-aizaki@hcc6.bai.ne.jp